部署紹介
ＯＸリード部

Challenging Tomorrow's Changes

部長メッセージ



情報通信事業グループ
情報通信第２本部　ＯＸリード部
部長　立川　泰史

“超”つながる世界を実現し、ユーザを笑顔に。

障害発生時に抱く
サービス利用者の「使えない」
運用者の「1秒でも早く何とかしなければ」
という不安・ストレスをなくす仕組みや高品質なSIを提供し、
私たちの価値を高めていく

私の部のビジョンです。今後、運用システムは自律型（自動化）へと移行する変革期を迎えます。新たな技術で顧客をリードし、このビジョンを実現したいと思っています。共に目指しましょう。

ＯＸリード部の組織構成

ＯＸリード部

社員数： 31名　外部人材： 52名

顧客領域	KDDI様、Wi2様、Biglobe様
ビジネスモデル	開発・SI：100%
規模/1案件あたり	3百万円～2億円/件
人数/１案件あたり	数名～15名/案件
年齢構成	20代：32%　40代　：35% 30代：13%　50歳以上：19%
新卒中途割合	新卒：51%　中途49%
出社比率	社員：50～60% ※比較的出社している方です

ＯＸ第１課

担当領域
通信サービスのインフラ構築
通信データ活用（蓄積・分析）システムの構築
要件定義～導入まで担当。

ＯＸ第２課

担当領域
4G／5G向け運用システムの構築
要件定義～導入まで担当。海外パッケージのカスタマイズによる運用システムを導入。

ＯＸ第３課

担当領域
運用自動化（Pytohn/Ansibleなど）、API GW開、Open Sourceを組み合わせたCTC独自の運用システムを内製開発。要件定義～導入までを担当。AI駆動開発による開発効率化を実施。

ＯＸ第４課

担当領域
本部内の技術部組織を横断に見ており開発プロセスの標準化、業務効率化、品質管理、品質改善を担当。
PSO業務を担当。

ＯＸリード部の特徴・注力ポイント

- CTCならではの海外製品を国内のお客様に“初導入”する案件を複数遂行。難易度は高いが、まさに“チャレンジ”を味わえます
- 国際標準化団体（TMF）へ加入し、標準化動向を抑え、顧客をリード
- 自律型運用システムへの変革期に向けた提案活動や案件遂行を実施中
- Open Sourceソフトウェアを活用し、競合優位性を高める活動を実施
- 生成AIを業務に導入することで、業務効率化を推進
- 通信キャリア向けにシステム構築を実施しているため社会インフラ基盤を支える（繋がる）システムを担当
- 開発／NW／インフラ（クラウド）の技術領域を経験可能。特定領域を伸ばすことも、フルスタックエンジニアを目指すことも可能

ＯＸリード部で得られる経験／目指せるキャリア

・クラウド技術
・モバイルNW技術
・プログラミング（Python）
・OSS（オープンソースソフトウェア）利用
・プロジェクトマネージメント
NW案件/運用業務システム構築案件を中心に、小規模～大規模PJがあります。取り扱い技術の習得やPMスキルアップが可能です。
特定技術領域に特化しエンジニアをリードする役割（提案活動などビジネスを拡大していくポジション）やPJをマネージメントするPM業を中心に対応していく役割があります。
※いきなりPM/PLはなく、しっかりとステップを踏んでPMを目指して頂きます。